

令和9(2027)年度
学 生 募 集 要 項
〔私費外国人留学生入試〕



●私費外国人留学生入試日程表

事 項	日 時
出 願 期 間	令和9年1月25日(月)～2月3日(水) (午後5時必着)
試 験 実 施 日	令和9年2月25日(木)
合 格 者 発 表	令和9年3月6日(土) 午後2時 (予定)
入 学 手 続 期 限	令和9年3月15日(月) 午後5時まで

弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

目 次

■ 弘前大学における三つの方針（ポリシー）	1
① 実施方法等	3
② 実施学部及び募集人員	3
③ 出願要件	3
④ 出願手続	4
⑤ 入学検定料の返還について	6
⑥ 入学検定料の免除について	7
⑦ 障害等のある入学志願者の事前相談について	7
⑧ 入学試験における感染症対応について	8
⑨ 選抜方法	8
⑩ 試験実施日及び試験時間割	11
⑪ 試験場	11
⑫ 配点・評価方法	12
⑬ 合格者の発表	13
⑭ 入学手続	14
⑮ 学生寮への入寮について	14
⑯ 安全保障輸出管理について	15
⑰ 個人情報の取扱いについて	15
⑱ 日本留学試験（EJU）及び日本語能力試験（JLPT）に関する問合せ先	15
⑲ 「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」について	16
⑳ 各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	17
■ 問合せ先一覧	35

弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1. 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- － 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- － 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していかうとする行動力
- － 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していかうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

■解説：入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには、入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の2つが含まれています。その理由は、大学教育を効果的に実践し、学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには、学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て、花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは、「学力の3要素」です。学力の3要素は、初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は、①基礎的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、となっています。

また、卒業時に学生が身に付けるべき力とは、弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本学ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には、弘前大学の教育目的が内包されているため、「学力」「行動力」「意欲」は「学力の3要素」と完全一致しているわけではありません。ただし、教育理念の点で、両者は一致しています。よって、弘前大学の入学者選抜では、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は、学部や学科、あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針、入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究をととして、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

(1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

(2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践をととして培います。

(3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

－ 学際的な教養と高度な専門性を身に付け、学術的観点から自然や社会を見通す力

－ 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

－ 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページでご覧いただけます。 <https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/policy.html>

1 実施方法等

私費外国人留学生入試では、日本国籍を有しない者を対象に、日本留学試験及び各学部等が課す教科・科目に係る個別テスト、小論文試験、面接試験等によって入学者の選抜を実施します。志望する学科等が課す全ての教科・科目に係る個別テスト等を受験しなければ、合格者とはなりません。

大学入学共通テストは免除しますが、日本語能力試験（JLPT）のCEFRレベルがB2以上であることを出願の条件とします。

合格した場合の入学時期は令和9年4月とし、入学後の教育は他の選抜により入学した者と同様に行います。

2 実施学部及び募集人員

募集人員は、各学部・学科・課程・専攻・コース・専修とも若干名です。

学 部 ・ 学 科 等				
人文学部	文 化 創 生 課 程			
	社 会 経 営 課 程			
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	小 学 校 コ ー ス	
			中 学 校 コ ー ス	国 語 専 修
				社 会 専 修
				数 学 専 修
				理 科 専 修
				音 楽 専 修
				美 術 専 修
				保 健 体 育 専 修
				英 語 専 修
			特 別 支 援 教 育 専 攻	
			養 護 教 諭 養 成 課 程	

学 部 ・ 学 科 等		
医学部	医 学 科	
	保健学科	看 護 学 専 攻
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻
		検 査 技 術 科 学 専 攻
		理 学 療 法 学 専 攻
		作 業 療 法 学 専 攻
理工学部	心 理 支 援 科 学 科	
	数 物 科 学 科	数 物 科 学 科
		物 質 創 成 化 学 科
		地 球 環 境 防 災 学 科
		電 子 情 報 工 学 科
		機 械 科 学 科
農学生命科学部	自 然 エ ネ ル ギ ー 学 科	
	生 物 学 科	生 物 学 科
		分 子 生 命 科 学 科
		食 料 資 源 学 科
		国 際 園 芸 農 学 科
	地 域 環 境 工 学 科	

3 出 願 要 件

入学を志願できる者は、次の(1)、(2)、(3)及び(4)の全てに該当する者に限ります。

- (1) 日本の国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法の規定により、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者（※1）
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者、若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCEA レベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（インターナショナルAレベル）資格を有する者
- ⑥ 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者（CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者も含む）
- ⑦ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- ⑧ 個別の入学資格審査により、我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校を修了した者又は修了見込みの者と認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者（※2）
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が行う「2026年度日本留学試験」（6月又は11月）において、本学が課す科目を指定した出題言語により受験した者（※3）（※4）
- なお、理工学部においては、受験を要する科目の総得点が満点の70%（850点満点中595点）以上である者
- (4) 2025年7月1日以降に日本語能力試験（JLPT）のCEFRレベルがB2以上である者
- （※1）日本国籍を有していない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます）を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者並びに日本国の永住許可を得ている者は、一般選抜の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できません。
- （※2）出願要件(2)⑧の入学資格審査を申請する者は、令和8年11月13日（金）までに入試課へ申請書を提出してください。
- （※3）「2026年度日本留学試験」を複数回受験している場合は、利用する成績は受験者が指定するいずれか1回となります。複数の試験に分けての受験結果は認めません。
- （※4）出題言語の詳細については、8ページの「[9] 選抜方法 1. 日本留学試験」を参照してください。

4 出 願 手 続

出願書類等を一括して募集要項に添付の出願用封筒に入れ、郵送（書留速達）してください。

1. 出願期間

令和9年1月25日（月）～2月3日（水）午後5時必着

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の平日午前9時から午後5時までに持参してください。

出願書類受付期間後に到着したものは受理しません。郵便事情等を十分考慮のうえ、余裕をもって発送してください。ただし、2月1日（月）以前の日本国内発信局の消印がある書留・速達郵便に限り受付します。

2. 出願書類等

次の書類を提出してください。なお、外国語で作成された証明書等には、必ず日本語訳を添付してください。

1. 志願票	募集要項に添付の様式により提出してください。
2. 写真票、受験票	募集要項に添付の様式により提出してください。 志願学部学科等、志願者氏名を記入してください。 写真貼付欄には、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真（タテ4cm×ヨコ3cm）を貼り付けてください。本人確認に使用するため鮮明なものを使用してください。 なお、顔写真の加工・修正は認めません。加工・修正があった場合は、不正行為として扱うことがあります。

3. 「振替払込受付証明書 (大学提出用)」貼付台紙	検定料17,000円を添付の「払込取扱票」を用いて、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。 払込み済みの「振替払込受付証明書（大学提出用）」を添付の貼付台紙に貼り付けて提出してください。
4. 受験票返送用封筒	募集要項に添付の様式により提出してください。 受験票の送付に使用するので、確実に受信できる日本国内のあて先を記入し、郵便切手410円分（速達分）を貼付して提出してください。
5. 合格通知用封筒	募集要項に添付の様式により提出してください。 合格通知書の送付に使用するので、確実に受信できる日本国内のあて先を記入してください。
6. 卒業（修了）証明書・ 成績証明書 (日本語訳を添付すること)	a. 出願要件(2)の①の学校教育における12年の課程を修了（見込み）に該当する者 - 最終出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書 - 最終出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の成績証明書 b. 出願要件(2)の①の文部科学大臣の指定した者に該当する者 - 当該課程の修了証明書及び成績証明書等又は検定の合格証書及び成績証明書 c. 出願要件(2)の②に該当する者 - 国際バカロレア資格証書のコピー及び最終試験6科目の成績評価証明書 d. 出願要件(2)の③に該当する者 - 一般的大学入学資格証明書とこれに記載されている成績のコピー e. 出願要件(2)の④に該当する者 - バカロレア資格証書のコピー及びバカロレア資格試験成績証明書（フランス共和国のバカロレア資格証書が未発行の場合は、試験成績証明書をもって代えることができます。） f. 出願要件(2)の⑤に該当する者 - 成績評価証明書のコピー g. 出願要件(2)の⑥に該当する者 - 出身教育施設（日本の高等学校に相当する施設）の発行する修了証明書又は修了見込証明書及び成績証明書 - 当該教育施設が評価団体から認定を受けた証明書 h. 出願要件(2)の⑦に該当する者 - ヨーロッパ・バカロレア資格証書のコピー及びヨーロッパ・バカロレア資格試験成績証明書 注）成績証明書記載事項のうち科目名、成績評価等が符号又は略字により表示されている場合は、必ずその説明書を付してください。
7. 日本語能力試験（JLPT） の「認定結果及び成績に 関する証明書」 (CEFR レベルB2以上)	2025年7月1日以降に受験した日本語能力試験（JLPT）のCEFRレベルB2以上の「認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。 ※「認定結果及び成績に関する証明書」は発行・配達に時間がかかるため、出願時に間に合うよう余裕をもって発行手続を行ってください。 合格時に送付される「可否結果通知書／日本語能力認定書」ではありませんのでご注意ください。
8. 日本留学試験の受験票	「2026年度日本留学試験」の受験票のコピーを提出してください。
9. 【日本国内在住者】 住民票の写し又は住民票 記載事項証明書	住民票の写し又は住民票記載事項証明書を提出してください。 ※国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの ※個人番号（マイナンバー）の記載されていないもの
10. 【日本国外在住者】 パスポート等（日本語訳 を添付すること）	パスポート（国籍を証明する部分）のコピー、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のうち、いずれか1つを提出してください。

注）証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出してください。

※外国送金による検定料の納入方法

次の要領に従って、検定料17,000円を海外の金融機関より送金してください。なお、送金には時間がかかりますので早めに手続を行ってください。送金は必ず下記期日までに指定口座に到着するように行ってください。

入金期日 令和9年2月3日(水)まで

〈送金関連事項〉

【送金種類】	電信送金
【支払方法】	口座振込
【支払手数料】	依頼人負担
【経由銀行手数料】	依頼人負担
【送金金額】	17,000円
【送金目的】	検定料

〈送金先〉

【金融機関名】	青森みちのく銀行 (AomoriMichinoku Bank Ltd)
【支店名】	親方町支店 (Oyakatamachi Branch)
【口座の種類】	普通
【銀行住所】	〒036-8191 青森県弘前市親方町19 (19 Oyakata-machi, Hirosaki Aomori, 036-8191 Japan)
【SWIFT コード】	AOMBJPJT
【口座番号】	201-1228599
【口座所有者名】	国立大学法人弘前大学 学長 福田 眞作 (Hirosaki University)
【口座所有者住所】	〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 (1 Bunkyo-cho, Hirosaki Aomori, 036-8560 Japan)
【口座所有者電話番号】	0172-36-2111

- ※ 送金依頼人は志願者の氏名としてください。
- ※ 日本国外から振り込む場合、振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要になります。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となります。
- ※ 日本国内取引手数料については、銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定してください。もし指定が行われなかった場合、青森みちのく銀行で取引手数料が差し引かれるため、弘前大学への入金が不足となります。この場合、入学検定料を支払ったとはみなされませんのでご注意ください。
- ※ 送金後、手続書類の(写)を他の出願書類と一緒に提出してください。

3. 出願書類の提出先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学学務部入試課
電 話 0172-39-3122

4. 出願上の注意

- (1) 出願書類等に記入漏れなどの不備がある場合は、受付できません。
- (2) 出願書類等に虚偽の記載をした場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (3) 出願書類等を受け付けた後は、記載事項の変更は認めません。ただし、住所等の連絡先が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
- (4) 出願後は、出願書類等の返還はできません。

5 入学検定料の返還について

払込み済みの入学検定料は、次の場合を除き返還しません。

- ①入学検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合
- ②入学検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合
- ③誤って入学検定料を二重に払い込んだ場合

上記のいずれかに該当する場合は、払込み名義人本人からの申し出(本学の定める様式による)に基づき、口座振込み(外国送金)により返還します。必要書類や請求方法等の詳細については、弘前大学入試情報ホームページでご確認ください。

6 入学検定料の免除について

弘前大学では、自然災害による被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、令和8年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

免除対象となる入学者選抜試験

令和8年度に実施する学部入試（編入学入試を除く）及び大学院入試（科目等履修生、研究生及び聴講生は対象外）

対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、東日本大震災（平成23年3月11日発生）及び令和8年度に災害救助法が適用された地域で被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者が居住していた家屋（自己所有のものに限る）が、全壊、大規模半壊、半壊、流失と認定された方

東日本大震災においては、岩手県、宮城県及び福島県の全市町村並びに青森県、茨城県、栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住しており、居住していた家屋が上記の被害認定を受けた方

- (2) 学資負担者が災害により死亡または行方不明となった方
- (3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難区域、居住制限区域または避難指示解除準備区域に指定された方

注）令和8年度災害救助法の適用を受けない地域であっても、罹災証明書等の提出により対象となる場合がありますので、学務部入試課へお問い合わせください。

申請の方法

事前に学務部入試課へ電話等で問い合わせのうえ、所定の申請書に証明書類を添えて、出願書類とともに提出してください。この場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。詳細については、弘前大学入試情報ホームページでご確認ください。

7 障害等のある入学志願者の事前相談について

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮や措置を必要とする方は、令和8年12月18日（金）までに、あらかじめ本学に申し出たうえで「弘前大学入学者選抜試験に係る事前相談申請書」（所定様式）を提出してください。

なお、相談内容によっては、対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮や措置が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

○連絡先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

電 話 0172-39-3122

○様式ダウンロード先

障害等のある入学志願者の事前相談（<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/faculty/disabilities/>）

8 入学試験における感染症対応について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合は、受験できません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。

上記の理由により受験できなかった場合、追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。日頃から、手洗いなどの手指衛生、換気等により各自感染防止に努め、体調管理には十分注意してください。

9 選 抜 方 法

入学者の選抜は、「2026年度日本留学試験」の成績と本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等の成績を総合して行います。

1. 日本留学試験

成績を利用できる日本留学試験の実施月は、令和8（2026）年6月又は11月とします。

学 部 ・ 学 科 等			科 目						選択方法	出題言語	
			日本語	総合科目	数学 (コース)	理 科					理科の 受験科目数
						物理	化学	生物			
人 文 社 会 科 学 部			◎	◎	◎1又は2						日本語 又は 英 語
教育 学部	学校 教育 課程 教員	初等中等教育専攻	◎	◎	◎1又は2					総合科目 又は 理科を選択	日本語 又は 英 語
		特別支援教育専攻	◎		◎2	○	○	○	○から2科目		
	養 護 教 諭 養 成 課 程		◎	◎	◎1又は2					総合科目 又は 理科を選択	
			◎		◎1又は2	○	○	○	○から2科目		
医 学 部	医 学 科		◎		◎1又は2	◎	◎		◎を2科目		日本語
	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	◎		◎1又は2		◎	◎	◎を2科目		
		放射線技術科学専攻	◎		◎2	◎	◎		◎を2科目		
		検査技術科学専攻	◎		◎1又は2	○	○	○	○から2科目		
		理学療法学専攻	◎		◎1又は2	○	○	◎	◎生物必修, さらに○から 1科目		
		作業療法学専攻	◎		◎1又は2	○	○	○	○から2科目		
	心 理 支 援 科 学 科		◎	◎	◎1又は2						
理 工 学 部			◎		◎2	◎	◎		◎を2科目		日本語
農 学 生 命 科 学 部			◎		◎1又は2	○	○	○	○から2科目		日本語 又は 英 語

注）◎印は必修科目，○は選択科目を表します。

2. 本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等

学 部 ・ 学 科 等				教科・科目に係る 個別テスト	小論文	実技	面接
人 文 社 会 科 学 部					○		○
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 中 等 教 育 専 攻	小 学 校 コ ー ス		○		○
			中 学 校 コ ー ス	国 語 専 修 社 会 専 修 数 学 専 修 理 科 専 修		○	
		音 楽 専 修 美 術 専 修			○		○
		保 健 体 育 専 修 英 語 専 修		○		○	
		特 別 支 援 教 育 専 攻		○		○	
		養 護 教 諭 養 成 課 程		○		○	
	医 学 部	医 学 科		○	○		○
保 健 学 科			○		○		
心 理 支 援 科 学 科			○		○		
理 工 学 部						○	
農 学 生 命 科 学 部				○		○	

【教科・科目に係る個別テストについて】

医学部医学科の教科・科目に係る個別テストでは、「英語」の筆記試験を行います。

【小論文について】

課題を与え、日本語で論述させます。(制限字数800字)

3. 実技検査の方法等

学 部 ・ 課 程 等		実 施 方 法 等
教育学部 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース	音楽専修	I. 次の①及び②の項目をどちらも受験する。 ①ツェルニー 100番練習曲集, ツェルニー 30番練習曲集, ツェルニー 40番練習曲集の中から, 任意の1曲(楽譜持込可)をピアノで演奏すること。 ②独唱又は独奏(ピアノを除く)のいずれかを選択し, 暗譜で演奏すること。曲目は自由, 演奏時間は原則として10分以内とする。 II. 実技のあと, 口頭試問を行う。
	美術専修	美術実技は次のとおりとする。(3時間) デッサン……鉛筆デッサンの用具を持参してください。 (イーゼル, カルトンは不要)

4. 面接の実施方法

学 部	実 施 方 法 等
人 文 社 会 科 学 部	複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。1人当たり20分程度とする。(英語の基礎学力に関する試問を含む)
教 育 学 部	複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。1人当たり30分程度とする。(基礎学力に関する試問を含む)
医 学 部	複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。1人当たり15分程度とする。(保健学科では, 基礎学力に関する試問を含む)
理 工 学 部	複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。1人当たり20分程度とする。(基礎学力に関する試問を含む)
農 学 生 命 科 学 部	複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。1人当たり20分程度とする。(基礎学力に関する試問を行うことがある)

10 試験実施日及び試験時間割

学部・学科等				月日（曜日）		2月25日（木）	
人 文 社 会 科 学 部				小論文 9：00～10：30		面接 11:30～17:00（※）	
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	小 学 校 コ ー ス		小論文 9：00～10：30	面接 11:30～17:00（※）	
			国 語 専 修 社 会 専 修 数 学 専 修 理 科 専 修				
			音 楽 専 修 美 術 専 修	実技検査・面接 9：00～17：00（※）			
			保 健 体 育 専 修 英 語 専 修	小論文 9：00～10：30	面接 11:30～17:00（※）		
		特 別 支 援 教 育 専 攻					
		養 護 教 諭 養 成 課 程					
医 学 部	医 学 科			英語10:00～11:00, 小論文11:30～12:30, 面接13:00～15:00（※）			
	保 健 学 科			小論文 11：30～12：30		面接 13:00～15:00（※）	
	心 理 支 援 科 学 科			小論文 11：30～12：30		面接 13:00～15:00（※）	
理 工 学 部						面接 11:30～17:00（※）	
農 学 生 命 科 学 部				小論文 9：00～10：30		面接 11:30～17:00（※）	

注) 試験当日は、同試験会場において一般選抜（前期日程）の入学試験も実施しておりますのでご注意ください。

(※) 試験終了時間については、受験者数等によって変更することがあります。

11 試 験 場

学 部 等	試 験 場
人 文 社 会 科 学 部	弘 前 大 学 総 合 教 育 棟
教 育 学 部	弘 前 大 学 教 育 学 部
医 学 部 医 学 科	弘 前 大 学 医 学 部 医 学 科
医 学 部 保 健 学 科	弘 前 大 学 医 学 部 保 健 学 科
医 学 部 心 理 支 援 科 学 科	
理 工 学 部	弘 前 大 学 理 工 学 部
農 学 生 命 科 学 部	弘 前 大 学 農 学 生 命 科 学 部

注) 1. 志願者数の関係で試験場を変更した場合は、受験票送付の際に通知するので、注意してください。

2. 試験場へ入場の際は、「弘前大学受験票」のほかに、「日本留学試験受験票」も提示し、確認を受けたうえで、入場してください。

また、身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。)) の持参を必須とします。

不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがあります。

12 配点・評価方法

人 文 社 会 学 部	小論文及び面接については、次のとおり点数化して評価する。なお、日本留学試験の成績は総合判定の資料とする。 小論文 100点, 面接 100点 合計 200点 (小論文) 課題についての自分の考えを的確に述べていること, 論旨が明確であること, 日本語の文章として適切であること等を総合的に評価する。 (面 接) 面接を通して志望学部・課程への関心, 意欲, 適性等を客観的に評価する。
教 育 学 部	小論文, 実技及び面接については、次のとおり点数化して評価する。なお、日本留学試験の成績は総合判定の資料とする。 小論文又は実技 100点, 面接 100点 合計 200点 (小論文) 論述の内容が, 与えられた課題に則しており, 論理的であること, 自分の考えや意見が明確であること, また言葉づかいが正確であること等を総合的な評価の基準とする。 (実 技) 音楽に関する基礎的な能力を採点評価する。(音楽) 基本的な描写能力を採点評価する。(美術) (面 接) 志望専攻への動機・興味・関心・意欲・資質等を総合的に評価する。
医 学 部 医 学 科	日本留学試験, 英語, 小論文, 面接それぞれを A, B, C, D, E の 5 段階評価とする。 (日本留学試験) 受験を要する科目の合計点を 5 段階評価する。 (英 語) 英語に関する基礎的な学力を採点評価する。 (小論文) 課題についての自分の考えを明確に論述しているかどうかを日本語能力も含め, 総合的に採点評価する。 (面 接) 医学への関心, 意欲, 適性等を評価する。
医 学 部 保 健 学 科	日本留学試験, 小論文及び面接の結果を総合して行う。 A, B, C, D, E の 5 段階評価とする。 (日本留学試験) A, B, C, D, E の 5 段階評価とする。 (小論文) 複数の教員で採点し, A, B, C, D, E の 5 段階評価とする。 (面 接) 複数の教員で行い, A, B, C, D, E の 5 段階評価とする。

医学部 心理支援科学科	日本留学試験、小論文及び面接の結果を総合して行う。 A、B、C、D、Eの5段階評価とする。 (日本留学試験) A、B、C、D、Eの5段階評価とする。 (小論文) 複数の教員で採点し、A、B、C、D、Eの5段階評価とする。 (面接) 複数の教員で行い、A、B、C、D、Eの5段階評価とする。
理工学部	面接については、次のとおり点数化して評価する。なお、日本留学試験の成績は総合判定の資料とする。 面接 100点 (面接) 志望学部・学科への興味・関心・意欲・適性及び基礎学力を客観的に評価する。
農学生命科学部	小論文及び面接については、次のとおり点数化して評価する。なお、日本留学試験の成績は総合判定の資料とする。 小論文 200点、面接 200点 合計 400点 (小論文) 課題について題意を適切に理解し、自分の考えや意見を的確に論述しているか等について総合的に評価する。 (面接) 志望学部・学科への興味・関心・意欲・適性を客観的に評価する。

13 合格者の発表

発表日時	発表方法
令和9年3月6日(土) 午後2時(予定)	特設サイト (https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/)上で発表 

合格者には、「合格通知書」を合格発表後速やかに、合格通知書等送付用封筒を使って速達で郵送します。合格者の受験番号は本学ホームページでも確認できますが、ホームページの掲載情報は本学の情報提供サービスの一環として行うものであり、「合格通知書」をもって正式な通知とします。なお、電話等による合否の問合せには一切応じません。

注)「合格通知書」の到着には、地域にもよりますが、合格発表後2～3日かかる場合があります。

14 入 学 手 続

1. 入学手続の方法

入学試験に合格した方は、郵送により、入学手続を行ってください。期限までに手続を完了しない方は、**入学を辞退**したものとして取り扱います。

2. 入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

I. 合格通知書	合格発表時に送付します。
II. 誓約・保証書	合格通知の際に、本学所定用紙を送付します。本人と連帯保証人（身元引受人）それぞれの印鑑が必要になります。
III. 確認書	合格通知の際に、本学所定用紙を送付します。
IV. 入学料 282,000 円（予定）	合格通知の際に、本学所定の振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。

※ 授業料は、年額 535,800 円（前期分 267,900 円 後期分 267,900 円）（予定）になります。納付期限は、前期分 5 月 31 日、後期分 10 月 31 日となりますが、希望により入学料と併せて前期分又は年額（前期分＋後期分）を前納することができます。

※ 入学時までに入学料及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

3. 入学手続に関する注意事項

- (1) 納付済みの入学料については、入学手続き完了後は原則として返還しません。
- (2) 納付済みの授業料については、令和 9 年 3 月 31 日（水）午後 5 時までに入学を辞退した場合に限り、当該授業料相当額を返還します。

15 学生寮への入寮について

令和 9 年 1 月下旬～2 月頃に本学ホームページに「入寮案内」が掲載されますので、必要書類や受付期間などはそちらをご確認ください。

ご覧になれない場合は、下記の問合せ先までご連絡をお願いします。

○ホームページ URL

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/consultation/gakuryo/>

○問合せ先

弘前大学学務部学生課 学生支援グループ

電話：0172-39-3107 FAX：0172-39-3119

16 安全保障輸出管理について

弘前大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人弘前大学安全保障輸出管理規程」を定め、物品の輸出、技術の提供及び外国人留学生の受入れについて厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究できない場合がありますので、注意してください。

外国人留学生の方は、入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名し、提出していただきます。

17 個人情報の取扱いについて

- 1 志願者から提出された個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用します。

- ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③その他、教育・研究に関すること。

上記の利用目的に係る個人情報の取扱い業務の全部又は一部を外部に委託する場合があります。

- 2 欧州経済領域（EEA）に在住する者は、EU一般データ保護規則（General Data Protection Regulation（GDPR））の適用を受けるため、別に手続きが必要となるので、事前に下記連絡先に連絡してください。

弘前大学学務部入試課 電 話：0172-39-3122 FAX：0172-39-3125 メー ル：nyushi@hirosaki-u.ac.jp
--

18 日本留学試験（EJU）及び日本語能力試験（JLPT）に関する問合せ先

1. 日本留学試験（EJU）

- (1)日本留学試験（EJU）ウェブサイト

<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/index.html>

- (2)日本留学試験（EJU）受付センター

住所）〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI横浜ビル7階

電話）0570-55-0585※ FAX）045-620-7962

※一部携帯電話、IP電話及び海外からの電話は、045-620-7243

2. 日本語能力試験（JLPT）

- (1)日本語能力試験（JLPT）ウェブサイト

<https://www.jlpt.jp/>

- (2)日本語能力試験（JLPT）（日本国内）受付センター

電話）03-6686-2974

19 「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」について

こども性暴力防止法が成立し、2026年12月25日から施行される予定です。

この法律により、実習を行う前に、実習施設から法に基づく「犯罪事実確認」が行われる可能性があります。確認の結果、特定性犯罪の前科があると判断された場合には、実習を行うことはできません。

教育学部の学生は教育実習が卒業要件となるため、入学手続き時に①同意書（犯罪事実確認等に関する同意）及び②誓約書（特定性犯罪前科がないことの誓約）を提出していただきます。提出できない場合は入学を許可できませんので、内容を十分に理解のうえ、出願してください。

教育学部以外の学部でも、教育実習の前に、提出していただきますので、教員免許状の取得を希望する方は、必ず確認してください。

【参考】制度の詳細はこちらをご覧ください。

こども家庭庁ホームページ：<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

弘前大学入試情報ホームページ：<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/news/information/17029/>

20 各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

人文社会科学部

1) 人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視したカリキュラムを提供することによって、地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力、地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い、社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 人文科学と社会科学の諸領域（考古学、歴史学、文学、哲学、法学、経済学、経営学、社会学等）に関わる専門的知識・技能を習得するための基礎学力
- 学んだ専門的知識・技能を文化の振興や社会の発展に役立てるための行動力
- 人間文化の発展に貢献することや現代社会が直面する複雑な問題を解決することへの意欲

また、人文社会科学部の各課程は、それぞれ次のような学生を求めます。

【文化創生課程】

- 地域社会の発展のために、地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等の活動を担っていけるような行動力のある人
- 国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと、深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人

【社会経営課程】

- 地域社会の発展のために、自治体の政策立案や地域産業の育成、地域住民との協働による問題解決等に貢献していくことができるような行動力のある人
- 少子高齢化や人口減少、経済・産業基盤の変化等、現代社会が直面する諸課題を解決することに意欲的である人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 教科・科目の学習を通して、歴史文化や社会に関する基礎知識をはじめ、論理的思考力・情報処理能力、コミュニケーション能力等を身に付けておく必要があります。
- グループ学習等の体験型学習を通して、自分自身の考えを積極的に発信していく力や学習に主体的に参加する姿勢を身に付けておく必要があります。
- 物事を多面的に理解し、複雑化した問題を的確に分析する力を養うために、国内外の様々な問題に広く関心を持つ姿勢や、多様な分野の学習に積極的に取り組む姿勢を身に付けておく必要があります。

3) 入学者選抜の基本方針

人文社会科学部では、人文社会科学分野の人材として育つにふさわしい学力・行動力・意欲を有する学生を選抜する目的で、多面的・総合的な評価方法により、別表のとおり入学者を選考します。

【別表 1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○		
	小論文				
総合型選抜 I	小論文	本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
	調査書				
	学習計画書				

【別表 2】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	一般・後期	人間の営みや現代社会が直面している課題等について、文献等の資料を提示し自分の考えを述べさせます。 資料が示していることを十分に理解しているか、設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価します。
	総合 I	一つのテーマについて論述させます。 設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価します。
個人面接	総合 I	自己PR、志望理由と入学後の学習計画、大学卒業後の進路等について口頭発表させ、発表内容に関する質疑応答を行います。 アドミッション・ポリシーを念頭に置いた志望課程への関心と意欲が高いか、大学入学後の学習計画と将来への見通しについては明確か、質疑応答が的確になされているか等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。
調査書	総合 I	高等学校での科目の履修状況と学習成果、教科外活動の状況、社会貢献活動・各種の資格の取得状況等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。
学習計画書	総合 I	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉学や様々な活動を通して得た経験を元に記述させます。 アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているか、志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか、将来の進路希望は明確か等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。

教 育 学 部

1) 教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- ・将来、教員になるための素養と、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- ・自立した個人として、または多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していこうとする行動力
- ・教育者を目指して知的・人格的に成長していこうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻】

- ・小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- ・将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

- ・障害等の特別な教育的ニーズを教育、心理、病理などの多方面から理解し支援するために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- ・将来、特別支援学校等の教員として、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

【養護教諭養成課程】

- ・養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- ・子どもの健康に高い関心を持ち、将来、養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- ・高等学校で履修する教科・科目の基礎的理解だけでなく、取得する教員免許に則した深い学び、課題の把握とその解決に向けたプロセスをわかりやすく表現や説明できる力を習得しておくことが必要です。
- ・将来、教員として同僚や児童・生徒、保護者とのコミュニケーションを円滑に育めるように、課外活動やボランティア活動など、多様な人々と積極的に関わっていく主体的な経験が望まれます。
- ・日頃から社会情勢や教育問題に対して関心を持ち、困難な問題にも安易にあきらめることなく乗り越えるための努力を惜しまない姿勢と、自己を高める継続的な向上心を身に付けておくことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

教育学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学 力	行 動 力	意 欲
一 般 選 抜 (前期)	小学校コース，中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修を除く），特別支援教育専攻，養護教諭養成課程		○		
	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。			
	教科・科目に係る個別テスト				
	個人面接				
一 般 選 抜 (後期)	小学校コース		○		
	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個人面接				
総合型選抜Ⅰ	中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修）		○		○
	個人面接	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，音楽・美術・保健体育の教員としての基礎的な学力（技能及び知識）と資質・適性，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。			
	実技試験				
総合型選抜Ⅱ	小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程			○	○
	共通テスト	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価すると共に，高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個人面接				
	集団討論				
	志望理由書				

注）一般選抜（前期・後期）及び総合型選抜Ⅱの個人面接では，調査書を参考資料とします。

注）総合型選抜Ⅰの音楽専修及び美術専修の個人面接では，調査書及び志望理由書を参考資料とします。

注）総合型選抜Ⅰの保健体育専修の個人面接では，調査書，志望理由書及び運動歴調査書を参考資料とします。
なお，運動歴調査書は実技の得点に含めます。

【別表 2】 選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個 人 面 接	一般・前期	質疑応答等を通して、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価します。 総合Ⅰの美術専修及び保健体育専修においては、それぞれ美術と保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い、「学力」も評価します。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
集 団 討 論	総合Ⅱ	【小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程】 与えられたテーマについてグループで討論を行います。 討論を通して、①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力、②発言内容、③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価します。
実 技 試 験	総合Ⅰ	【中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修）】 事前に提示した課題または基礎運動能力テストについて実技試験を行います。 基本的な能力・技術等を把握し、音楽・美術・保健体育の教員として必要な「学力」（技能・運動能力）を評価します。 音楽専修においては、演奏楽曲に関する知識等に関する口頭試問も含みます。 保健体育専修においては、運動歴調査書により得意とするスポーツ競技の成績や、活動状況等の運動歴を通して、保健体育教員として必要な資質・適性である「学力」（専門的なスポーツ能力）を評価して、実技の得点に含めます。
志望理由書	総合Ⅱ	【小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程】 志望理由や活動実績等の内容から、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し、主に「意欲」を評価します。

医学部医学科

1) 医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では、豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- 生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組む、知的・人格的に成長していこうとする意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医学を修めるために、理系科目だけでなく、英語や文系科目もしっかりと履修し、応用力を伴った総合的学力を身に付けておく必要があります。
- 将来、様々な医療職と連携し、多様なニーズに対応できる医療を実践するためには、コミュニケーション能力と協調性を身に付けておく必要があります。
- 医学・医療を取り巻く社会問題や地域の動向に関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を身に付けておく必要があります。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部医学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】 入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
	個人面接				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価する観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。		○	○
	個人面接				
	総合論述				
学士編入学 (第2年次)	個人面接	修業年限4年以上の大学卒業レベルの学習の達成度及び様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	
	TOEFL				
	教科・科目に係る個別テスト(基礎自然科学・数学)				

注) 一般選抜(前期)及び総合型選抜Ⅱの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

注) 学士編入学(第2年次)の面接では、志望理由書を参考資料とします。

【別表2】 選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個人面接	一般・前期	事前に提出される「志望理由書」を資料に用いて、志望理由、医療に対する関心、卒業後の進路等について、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価します。
	総合Ⅱ	
	学士編入学	
総合論述	総合Ⅱ	与えられた資料の内容を的確に捉え、課題を見出し、自身の考えの思考過程及び最終的結論に関して論述させます。自身の考えを論理的に構築・表現する力が求められます。資料の理解・解析・分析を通じて、課題解決に必要な論理的思考力と問題発見能力の他、医学分野における資質を以下の観点に基づき総合的・多角的に評価します。 1. 資料理解力：資料の本質を捉え、的確に解析する能力。 2. 問題発見能力：与えられた情報や状況から課題を見出し、それを適切に定義する能力。 3. 論理的思考力：課題に対する考えを論理的に構成する能力。 4. 分析力：資料や課題の要点を整理し、深く考察する能力。 5. 表現力：明確かつ説得力のある形で自身の考えを示す能力。
TOEFL	学士編入学	英語について、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。
教科・科目に係る個別テスト (基礎自然科学・数学)	学士編入学	物理・化学・生物・数学の筆記試験を通して、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。

医学部保健学科

1) 医学部保健学科が求める学生像

医学部保健学科では、保健医療の高度な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と問題解決能力を備え、創造性、独創性と国際的視野を有し、社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 保健医療専門職となるための学修に必要な基礎的学力
- 将来、他の医療職者と協調しながら保健医療活動を実践するための行動力
- 向上心と研究心を基に、保健医療の実践者として社会に貢献する強い意欲

また、医学部保健学科の各専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【看護学専攻】

- 人間や生命、健康に関心を持ち、看護専門職者として知的・人格的に成長しようとする意欲のある人
- 人間の尊厳を重んじ、人や社会、文化の多様性を認め、人と良好な関係を築くことができる人

【放射線技術科学専攻】

- チーム医療の一員として積極的にコミュニケーションを図り、他の医療技術者と互いに協力し合い、より良い医療を提供するための行動力のある人
- 医療を安全に行う能力を有し、生涯にわたり向上心・探究心を持ち続け、知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【検査技術科学専攻】

- 医療従事者としての自覚とチーム医療遂行のための協調性を持ち、鋭い観察力と洞察力ならびに応用力を備えて保健医療の発展のために積極的に行動できる人
- 自然科学、保健医療、臨床検査に強い関心を持ち、検査職を通して人々の健康維持・増進に積極的に取り組む意欲のある人

【理学療法学専攻】

- 他者と適切な関係を築きながら、様々な人たちと協働して、障害者等が抱える問題の解決に取り組む行動力を有する人
- 理学療法士として向上心・研究心を持って保健医療に取り組み、障害者等のリハビリテーションに貢献したいという強い意欲のある人

【作業療法学専攻】

- 作業療法の対象者の個別の価値観や生活を尊重し、対象者の希望に沿った作業活動を考えつつ実践するための行動力のある人
- チーム医療の一員として、他職種を尊重しながら、作業療法を積極的に実行する意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医療従事者は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- チーム医療の一員として医療に関わることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 研究心や探求心などにに基づき、様々なことに関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部保健学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するとともに、医療従事者としての資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
	小論文（該当する専攻のみ）				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための基礎的学力、資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	小論文				
	個人面接				
	調査書				
	志望理由書				

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	一般・前期	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。また、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力の観点から「意欲」、「行動力」も評価します。
	総合Ⅱ	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅱ	自己PR、志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路、高等学校での学習や課外活動等について質疑応答を行います。 志望理由、専門分野に関する興味関心についての質疑応答の内容から「意欲」、課外活動・ボランティア活動についての質疑応答の内容から「行動力」を評価します。
調査書	総合Ⅱ	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、主に「行動力」を評価します。
志望理由書	総合Ⅱ	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「意欲」を評価します。

医学部心理支援科学科

1) 医学部心理支援科学科が求める学生像

医学部心理支援科学科では、科学的思考力を有し、こころの問題を感受し、その問題を解決できる能力や生命に対する高い倫理性と豊かな人間性を有し、悩める人に寄り添い、心理支援職としての役割を通して地域住民の健康と福祉に寄与し、社会に貢献する地域のリーダーとなる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 心理支援職としての知識と技術を修得するのに必要な基礎学力
- 他職種と連携しチームの一員として心理支援活動を実践するための行動力
- 社会問題や地域の動向に関心をもち、心理支援職として社会に貢献する強い意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 心理支援職は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- 他職種と連携しチームの一員として心理支援業務に関わることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 幅広い研究心や探求心などに基づき、社会問題や地域の動向に関心を持ち、自ら積極的に関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部心理支援科学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、知識・理解力・思考力・判断力・表現力について、共通テストと教科・科目に係る個別テストにより評価します。また、「意欲」、「行動力」については、志望理由書により評価します。これらの結果を総合評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
	志望理由書				

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
志望理由書	一般・前期	志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉強や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「行動力」及び「意欲」を評価します。

理 工 学 部

1) 理工学部が求める学生像

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養うカリキュラムを提供することによって、自然の仕組みを探究する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 専門教育の基礎となる理数系の学力、及び社会の中で専門的能力を活かすための基礎学力
- 高等学校までに学習すべき課題に真摯に取り組むとともに、自らの個性や資質に合わせてその他の活動にも積極的に参加し、自らを成長させていく行動力
- 専門を生かして新たな課題を見だし、解決するために学び続ける意欲

また、理工学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【数物科学科】

（数学型）

- 数理科学への強い興味を持ち、数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 探究心が旺盛で豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって社会に貢献する意欲のある人

（物理型）

- 自然の基本原理に興味を持ち、物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 物質を構成しその性質を決定している量子の世界から広大な宇宙の世界までを支配している自然の基本原理を理解し、より深く探求することやその成果を社会へ還元することに意欲のある人

【物質創成化学科】

- 化学物質の構造や化学反応の仕組みを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち、化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 自ら課題を見だし、暮らしを豊かにする機能性物質や環境調和を指向した機能性材料を創成し、リサイクル、省資源、エネルギー創成技術等に関する諸課題を解決するための研究開発に意欲のある人

【地球環境防災学科】

- 宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人
- 自ら課題を見だし、地球に関する科学の深化や、地球環境問題の解決、自然災害の防止に貢献することに意欲のある人

【電子情報工学科】

- 電子回路、電子材料、コンピュータとソフトウェア、通信ネットワーク、セキュリティ、組込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 電子情報工学の発展に強い関心を持ち、学んだことの成果を社会の様々な分野で活用することに意欲のある人

【機械科学科】

- 医用・福祉，環境・エネルギー，航空宇宙，輸送機械，ロボット，AI，ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ものづくりに関する科学技術の発展に強い関心を持ち，失敗を恐れず継続してものごとに取り組む，学んだことの成果を社会の様々な領域で活用することに意欲のある人

【自然エネルギー学科】

- 自然や人間社会に深い興味を持ち，自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 地域に存在する自然エネルギー源を利用することや，その活用に意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 理工学分野の学問を学ぶために必要な力として，論理的思考力，自然科学に関する基礎知識，表現やコミュニケーションの能力を身に付けておくことが必要です。
- 自ら課題を探究し，主体的に取り組む学習態度，新しい発見や創造的な活動に取り組むための行動力が必要です。また，他者と協働して学習や研究などに取り組むことができる行動力や学習態度が必要です。
- 困難な課題に対しても安易にあきらめることなく取り組み，やり遂げようとする意欲を持ち続けることが必要です。また，自然界の仕組みや社会を支える技術について日頃から興味を持ち，学習に自発的に取り組む態度が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

理工学部では，前記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により，別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
総合型選抜Ⅰ	講義の実施とその内容に関するレポート	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
編入学入試 (第3年次) 推薦	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。 なお、個人面接においては、基礎学力に関する試問を含みません。	○	○	○
	調査書				
	志望理由書				
	推薦書				
編入学入試 (第3年次) 一般	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	調査書又は成績証明書				
	志望理由書				

注) 総合型選抜Ⅰの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
講義の実施とその内容に関するレポート	総合Ⅰ	学部において実施する講義に、能動的に対応するために必要な「学力」及び「行動力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	志望動機、入学後の履修計画、卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により、「意欲」及び「行動力」を評価します。 また、総合型選抜Ⅰ及び編入学入試一般では、基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。 なお、編入学入試推薦においては、基礎学力に関する試問を含みません。
	編入学	
調査書又は成績証明書	編入学	これまでの学習に対する取組状況から、「行動力」の評価を行います。また、3年次以降の履修に対応する「学力」についても評価します。
志望理由書	編入学	志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から、「意欲」に関する評価を行います。
推薦書	編入学	これまでの学習に対する取組や学習意欲に関する客観評価から、「意欲」及び「行動力」の評価を行います。

農学生命科学部

1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけ、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学及び生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力（高等学校の教科全般、特に理科、英語、数学）
- 農学及び生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【生物学科】

- 生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたる様々な基礎的知識や応用的知識を、実社会への参画をみすえ、積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象の仕組みや生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】

- 分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業（例えば、医薬品、食品、化学工業など）及び学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- 生命現象の仕組みや機能に興味を持ち、高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し、さらに追求する意欲のある人

【食料資源学科】

- バイオテクノロジー、食品科学、作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ、これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
- 学びの中から様々な課題を自ら見だし、解決する力を養い、学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

【国際園芸農学科】

- 地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- 農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- 食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

【地域環境工学科】

- 自立した農業土木技術者として、社会的責任を自覚し、自主的継続的に学修し、多様な人々と協働し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け、水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 農学及び生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけでなく，論理的思考力，読解力，記述能力などの修得が必要です。
- 自分自身の考えを持ち，様々な課題に立ち向かい，解決する行動力を身に付けておく必要があります。
- 実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表 1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
総合型選抜Ⅰ	小論文	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
編入学入試 (第3年次)	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	編入学願				
	成績証明書				

注) 総合型選抜Ⅰの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表 2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	総合Ⅰ	農学や生命科学などに関連するいくつかのテーマについて論述させます。論理的思考力、読解力、記述能力などにより、「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	志望理由、興味・関心がある研究分野、入学前の学習などへの取組状況、将来への展望などに関する総合的な質疑により、「行動力」及び「意欲」の評価を行います。総合型選抜Ⅰでは、調査書と志望理由書をこれらの評価の参考資料として用います。
	編入学	また、総合型選抜Ⅰでは、基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。 なお、編入学入試では、試問により、3年次以降の履修に対応するために必要な「学力」を評価します。
編入学願	編入学	本学部に対する理解、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などから、「行動力」及び「意欲」を評価します。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績により、3年次以降の履修に対応する「学力」を評価します。

問合せ先一覧

■弘前大学の問合せ先

内 容	担当部署	連 絡 先
入学試験全般に関すること	学務部入試課	0172-39-3122 (FAX) 0172-39-3125
検定料の支払い及び返還に関すること		
入学手続に関すること		
奨学金に関すること	学務部学生課	0172-39-3117
学生寮に関すること		0172-39-3107
授業料の口座振替に関すること	財務部財務管理課	0172-39-3043
カリキュラム、資格取得等に関すること 注) 右欄の学部の入学試験に関することは、 学務部入試課へお問い合わせください。	人文社会科学部	0172-39-3940
	教育学部	0172-39-3939
	理工学部	0172-39-3930
	農学生命科学部	0172-39-3752
入学試験に関すること カリキュラム、資格取得等に関すること	医学部医学科	0172-39-5204 0172-39-5236 (入試)
	医学部保健学科	0172-39-5911
	医学部心理支援科学科	

※平日 8:30～17:00 (年末年始を除く。)

※電話による問合せは、やむを得ない場合を除き、志願者本人が行ってください。

■弘前大学生協同組合の問合せ先

試験時の宿泊やチケット予約 アパート紹介等、新生活準備に関すること	 弘前大学生協同組合 受験生・新入生サポートサイト https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/
--------------------------------------	--



弘前大学公式ホームページ
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>



弘前大学入試情報ホームページ
<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>



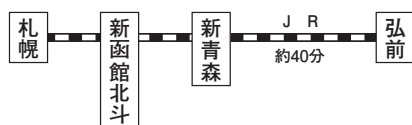
特設サイト (合格者発表, 出願状況, 試験当日の連絡)
<https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>

添 付 様 式 〔私費外国人留学生入試用〕

	出 願 書 類	所定用紙No.
1	志 願 票	No. 1
2	写 真 票 受 験 票 「振替払込受付証明書（大学提出用）」貼付台紙	No. 2
3	払込取扱票・振替払込請求書兼受領証・ 振替払込受付証明書（お客さま用）	No. 3
4	出願用封筒	
5	受験票返送用封筒	
6	合格通知用封筒	

弘前までの交通案内

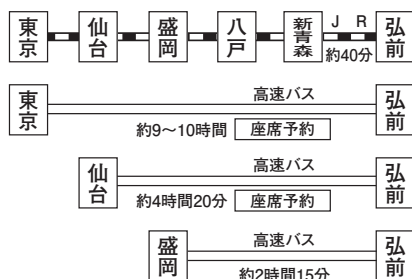
札幌・函館から



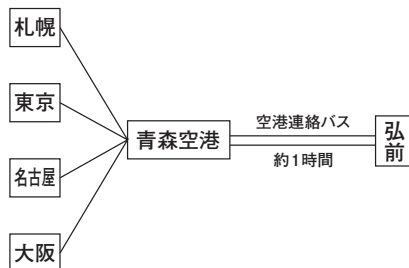
新潟・秋田から



東京・仙台・盛岡・八戸から



空 路



試験場略図 (弘前市内)

- ① 人文社会科学部試験場，教育学部試験場
- ② 理工学部試験場，農学生命科学部試験場
- ③ 医学部医学科試験場
- ④ 医学部保健学科試験場，医学部心理支援科学科試験場

